

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年7月4日(月) 14時30分～17時30分
- 3 開催場所 関高等学校校長室
- 4 参加者

会 長	大野 正博	朝日大学法学部 教授
副 会 長	福田 恵介	福田刃物工業株式会社 取締役
委 員	平田 久美子	平田建設株式会社 取締役
	森 小百合	関市 健康福祉部長
	村井 義史	本校同窓会 副会長
	河野 芳宣	本校 P T A会長
学 校 側	林 雅浩	校長
	高田 幸世	教頭
	小島 和秀	教頭
	大野 仁史	事務部長
	川原 正史	教務主任
	杉山 広之	生徒指導主事
	片桐 良子	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	安中 裕勝	特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) スクール・ポリシー、教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1：スクール・ポリシーはよく練られたものである。これを有効に実践するためにPDCAサイクルをうまく回せるようにしてほしい。

意見2：学校教育目標の中にある生徒のリーダーシップやグローバルな視野を育成することは、確かに重要なことの一つである。さらに、生徒が、将来生き生きと取り組めるようなものや打ち込めるようなことを見つけられるように指導してほしい。

意見3：重点目標の達成に必要な具体的取組、方策にある2つの「支援」をより具体的なかたちで提示し、実践していけるとよい。

(2) 授業について

意見1：主権者教育において、18歳に引き下げられた裁判員制度に関する授業を取り入れる必要性を感じている。ぜひ授業に取り入れてほしい。

意見2：生徒が真剣に取り組んでおり、態度が大変よい。話し合いの指示に対し、すぐに何人かで話し合いに取り掛かることのできる空気が素晴らしい。日頃の授業実践がきちんと定着していることがよく分かる。

意見3：例えば数学の「微分積分」や「対数」など、授業で扱われている題材が、実際にどのような場面で活用されているかをできるだけ提示するべきである。OutputがあるからInputがある。生徒の学習意欲の向上につながるはずである。

意見4：適切な発問を与え、生徒自らが考える授業が実践されていて感心した。グループでのディスカッション形式は、社会に出てから必要なことで、どんどん取り入れてほしい。ただ、必要性があるかの見極めもいる。

意見5：パワーポイントやPDFを利用し、電子黒板を効果的に用いた工夫された授業が実践されている。

(3) 校則について

意見1：生徒心得（校則）の策定には、どの程度生徒が関与しているのか。学校側が全てを決めるのではなく、生徒に決めさせる、関与させることが大切である。

意見2：自転車運転時のヘルメット着用は、その必要性をきちんとシミュレーションして活用すべきである。自分が事故等にあった時の対処にもつながる。

意見3：制服が自由となった学校があると聞く。制服については便利ではあるが、TPOに合わせた服装を自分で選ぶことも必要である。制服を撤廃することも一考してよいのではないか。

(4) 探究活動、F R H（地域共創フラッグシップハイスクール）活動について

意見1：探究活動・F R H活動の取組が素晴らしい。今後もさらに深めた活動を期待したい。

意見2：本校が大きく変わってきていると感じる。地域とのつながりに重きを置いた活動が多く行われている。将来、Uターンして地元に戻って働く生徒が増加するのではないか。

意見3：探究活動、F R H活動は、問題を解決していく力を育むチャンスと捉えてほしい。

意見4：工学的構造、芸術的デザイン、法律や保険など、交通安全指導におけるヘルメット着用を様々な視点で生徒に主体的に考えさせ、一つの探究活動として捉えてほしい。

(5) その他

意見1：本校の図書館は高校生が読む本としては先駆的なものがある。より進めてほしい。

意見2：様々な場面で、実際の社会に出た時の状況に近いことをもっと取り入れてほしい。

意見3：大学進学等における貸与式奨学金の残債が、将来住宅ローンを組むのに障害となっている。選ぶ進路によってかかるお金をきちんと把握する必要がある。また、消費者教育として、奨学金の貸与について正しい知識を身に付けさせてほしい。

意見4：本校は、大学進学を目指す生徒が多い学校であると同時に、リーダーを養成する学校でもあり、優秀な卒業生を輩出している。一方で、様々なプレッシャーに苦しむ生徒をどのように支援していくかも大切なことである。多様な子どもがいることを忘れないでほしい。

6 会議のまとめ

第1回の学校運営協議会では、施設見学を兼ねた校内巡回と授業の参観を行い、スクール・ポリシー、教育指導の重点及び学校運営計画、各分掌の今年度の方針と重点について学校職員から説明したうえで、協議した。スクール・ポリシーや探究活動等の本校の取組について高い評価が得られたとともに、全委員より今年度の本校の学校経営方針について承認が得られた。